



法政大学 公務員試験ガイダンス

LEC東京リーガルマインド
公務員事業本部
主任研究員 大野純一



アフターコロナの日本社会と公務員

～どのような社会になり、「公」はどうなるのか～



これからの世界の動向と日本の現状

- 4Gまでの社会は「**情報通信が産業化**」する過程であった。5G以降は「**産業が情報通信化**」するプロセスであり、世界はこの流れに乗って動いていく。
- 日本は、シェアリング・エコノミーやサブスク等新しい経済にはある程度順応しているが、**行政分野と教育分野のDXの遅れが顕在化**した。



アフターコロナの日本社会

- 持続可能な社会構築を視野に入れた **サステイナブル・リカバリー**が進む。
- 日本は**SDGs**を軸に「**人間中心の社会**」を実現していくようになる。
- コロナ以前の社会に逆戻りするのではなく、「新しい日常」を定着させ、**多様性と包括性に溢れた人が輝く社会**を目指していく。



より具体的に公務領域で求められること

- 新しい日常の中で地方創生に向けたさまざまな施策を立案・実施～持続可能な〇〇県(市)。
- 5Gを実装したスーパーシティが各地ではぐくまれ、多様な人々にやさしい社会を作り上げることが、国地方を問わず課題となっていく。



公務員の種類と仕事

～自分にあった職種を探そう～



公務員の魅力は？

- 公益のために働く充実感
- 安定性と充実した勤務条件
- 男女平等
- 透明な採用
- 将来の見通し ←これから考えるべきこと
民間には異業種合併も
官公庁も組織改革があるかも



一口に公務員というけれど・・・

- いわゆる三権分立でいう、立法府、行政府、司法府それぞれに公務員は存在。
- 圧倒的に多いのは行政府。
- 行政府の仕事は国家公務員と地方公務員に分けられる。
- 非常にさまざまな仕事があり、皆さんの資質にあった仕事はほぼ間違いなく存在。

公務員の世界（政策の流れ）

② 国会職員

立法府

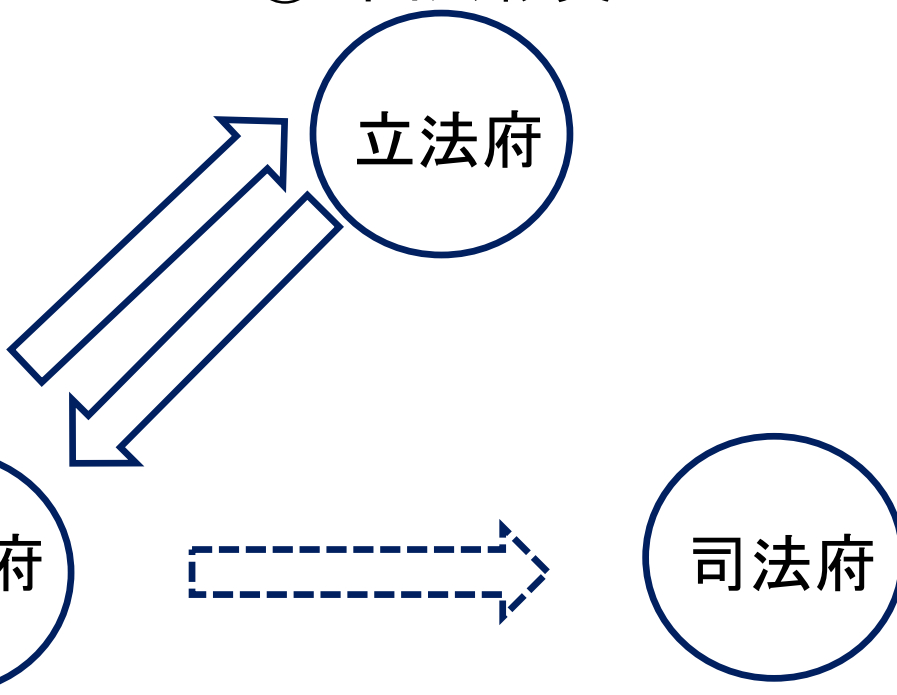
① 国家総合職

行政府

司法府

③ 国家一般職・専門職
地方公務員

④ 裁判所職員





国家公務員の仕事

- 国レベルのプロジェクトを扱う。
- 歴史に残るような仕事にかかわることもできる。
- 一方で、業務分野は限定される。
- 省庁間をまたぐ異動は原則としてない。
- 今後、「国のかたち」が変わる可能性もある。＝道州制・地方創生



地方公務員

- 都道府県・市町村の枠内で行政府の国家公務員がやる仕事とほぼ同様の業務を行う。
- 仕事の規模は小さくなるが、国家公務員と異なり、**様々な領域の業務を行う可能性**がある。
- 異動は地域内なので転居を伴うことはあまりない。



技術系公務員の仕事

- 官公庁には、理系でなければできない仕事も数多くある。
- 国家総合職、一般職のほか、地方公務員にもそれぞれの専門にあった職種が存在する。
- 労働基準監督官にも理系からの採用があるほか、独自採用をする省庁もある。



心理・福祉系公務員の仕事

- **心理、福祉それぞれのスペシャリスト**である心理職、福祉職の仕事もある。
- 心理職は国家公務員では、総合職、法務省専門職員（法務教官等）、家裁調査官補、地方公務員の採用もある。
- 福祉職は主に地方公務員での採用が多いが国家公務員の採用も少数ながらある。



公安系（警察官・消防官・自衛官）

- 警察官は都道府県採用、消防官は市町村採用。自衛隊は国家が採用。
- 警察と消防は24時間勤務が基本（1日勤務2日休みの3交代制か8時間の日勤を1日はさむ4交代制）。
- 自衛隊は幹部候補生、一般曹候補生を目指すのがよい。



公務員試験対策

～試験の概要を知っておこう～



試験スケジュール(2021年)

- 4月26日 国家総合職
 - 5月2日 東京都I類B、東京都特別区
 - 5月8日 裁判所事務官
 - 6月6日 国家専門職
 - 6月13日 国家一般職、外務専門職
 - 6月20日 府県庁、政令指定都市、市役所
- ※ 市役所は7月中旬旬(B日程)、9月中旬旬(C日程)にも多数



試験のスケジュール(公安系)

- 警視庁：年に3回か2回実施
4月11日、9月2日、1月9日
- 各県警：年に1回か2回実施
5月上旬、9月中旬
首都圏と地方とで別日程になることも
- 東京消防庁：
5月9日（Ⅰ類）、9月5日（Ⅱ類）
- 市役所消防：市役所試験に準ずる（年1回）



一般的な公務員試験の流れ

■ 一次試験

教養試験 択一式(マーク式)

専門試験 択一式(マーク式)

■ 二次試験

教養記述試験(一次で課されることも)

人物試験(個別面接・集団討論等)



試験の概要への補足

- 市役所試験では教養試験のみという地域も多い(関東地方のほとんどが該当するが、千葉県はほぼ全域で専門試験が課される)
- 一般的な学習をしていればさまざまな職種を受験可能



学科試験対策

- 学科試験対策は、**最大公約数となる部分を重点的に学習**し、**多数の併願ができる**ようにしていく。
- **合格ライン突破に不可欠な科目をまず対策**し、そこに志望先にあわせた科目を追加する。
- **自分に必要なだけの勉強で足りるので、余計な学習を行う必要はない。**

試験の科目（教養試験）

- 知能系科目

文章理解 数的処理

比重が高い！

- 知識系科目

人文科学 自然科学 社会科学

得点源として重要！

試験の科目（文系専門科目）

赤字の科目が得点源

- 法律系科目

憲法、行政法、民法、刑法、労働法など

- 経済系科目

経済原論、財政学、経営学、会計学など

- 行政系科目

政治学、行政学、社会学、国際関係など

試験の科目（理系専門科目）

- 工学の基礎

数学、物理

ここを得点源とする

- 専門科目（土木の例）

構造力学、水理学、土質力学、測量、
土木材料、土木設計、土木施行、
土木工学、環境工学、衛生工学



試験の科目（心理福祉系）

- 心理職は、**一般心理学と応用心理学**で構成される。
- 多くの人が苦手とする分野で得点していくことがポイント。
- 福祉職は、**社会福祉士の専門科目**とほぼ**共通**。
- 心理学分野と社会調査で差がつく。



論文試験の対策

- 一般的な小論文試験をイメージすればよいが、**公務員特有の論点**が出題される
- 国家公務員では、資料を読み、そこから論述をすることも求められる
- 地方公務員では地域の政策を理解した上での論文執筆力が求められることも
- **時事対策・面接対策ともリンク**していく



面接試験（人物試験）

- 近年、いずれの試験においても**比重は高まってきている**
- 面接試験（人物試験）の比重は一般的に**受験先の規模が小さいほど大きくなる**とみていい
- 個別面接のほか、**集団面接、集団討論、さらにはプレゼンテーションが課される**こともある



併願対策をどうするか？

～民間 and 公務員か、民間 or 公務員か？～



民間との併願をどうするか？

- 公務員専願でいくか、民間併願とするかは**学習進捗次第**
- 3年次の冬に実施される模擬試験を受け、A、B判定なら公務員専願、C、D判定なら純粋な併願、E判定なら民間主体の併願というのが一般的



公務員専願でいく場合

- このタイプの人、公務員が不合格だった場合、次年度もチャレンジする例が多い
- ある程度力がついていけば民間にはなびかず、残りの時間をすべて公務員試験に向ける方がいい
- 専門科目を重視する（受験先についても）
- 公務員受験の数をできるだけ多くする



民間主体の併願は？

- **新方式**や**面接重視の自治体**を重視しよう
- 都庁 I B新方式、神奈川秋季、横浜市など学科は教養試験のみのところも多い
- 市役所では、**SPI**や**SCOA**を課したり、独自の民間型新試験(Lightタイプ)も始まった(2021年から導入が増えていく可能性)



純粋な民間との併願の場合

- 民間・公務員とも**受験先を絞ること**。
- 自分のキャパシティを意識して、**時間の割り振りに注意しながら進めていく**。
- 公務員の勉強を春からスタートし、なるべく**早めに学習を進めていき、民間が始まっても欲張らないこと**。



民間との併願を成功させるコツ

- 文系専門を含む試験で併願を行う場合、カギになるのは**民法と経済原論**。
- これら2科目が苦手な場合、制約がある併願しかできないので、**3年生の冬までにどこまで学習を進められるか**がポイント。



1～2年生の間にやっておくこと

～勉強以外に公務員になるのに必要なことは～



公務員に求められる資質

- 公務員は限られた人が行う**特殊な仕事**ではない。
- 一般的な生活を理解できていることが必要となる。
- そうであれば、低学年の時にやっておきたいのは、**普通の大学生であればやっていることを経験しておく**とよい。



1～2年生にやっておいてほしいこと

- アルバイト、サークル活動は経験しておく
とよい。
- チャンスがあれば低学年でもゼミに類する
学習をしておこう。
- ボランティアも経験できれば経験しておこ
う。
- インターンシップ、説明会(オンラインも多
い)にも積極的に参加しよう。

キャリアセンターからのお知らせ

キャリアセンターでは、1回30分の個別相談（事前予約制）
を行っています

**ESアドバイス・模擬面接なども対応しています。
是非、活用してください**

↓市ヶ谷はこちら



↓多摩はこちら



↓小金井はこちら



学内講座のご案内

【学内講座】国家・地方公務員上級職対策講座 (公務人材育成センター主催)

- ◇受講対象 3年生
- ◇開講時期 2021年5月17日～2022年3月
- ◇開講形態 Web講座
オンデマンド講義の視聴
+ オンライン講義 各科目ごとに講義のまとめ・復習
- ◇受講料 100,000円
(2年次に基礎講座から継続して受講の方 90,000円)

学内講座のご案内

◇開講科目

・専門科目

憲法、民法、行政法、経済原論(演習含む)、政治学、行政学、
財政学・経済事情

・教養科目

数的処理、文章理解、社会科学、日本史、世界史、地理、思想、
文学・芸術、生物、地学、数学、物理、化学

・その他

時事対策、教養論文対策、人物試験対策

学内講座のご案内

◇相談コーナー

- ・メール相談、オンライン相談(予約制)

◇テーマ別特別セミナー(オンライン)

- ・経済原論徹底攻略特別セミナー
- ・志望先別対策セミナー(国家公務員・東京都庁・特別区)
- ・教養記述対策セミナー 教室講義(オンラインクラスも開講予定)

◇模試(有料別途申込必要)

12月～4月 全7回

◇講座受講生限定 オプション講座

◇模擬面接会 4年生6月

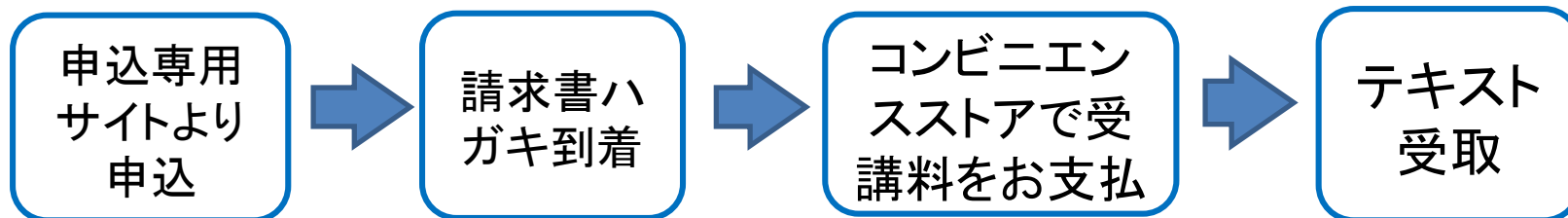
学内講座のご案内

講座申込方法

- 申込期間: 4月5日(月)～4月26日(月)
- 申込方法: 講座申込専用サイトより申込
<https://kagai-kouza.hosei.ac.jp/>



▪ 申込の流れ



★講座の詳細内容は、公務員講座パンフレット
(デジタルブック)をご覧ください。

※HONDANAにも掲載しています

